

2022年3月期 第3四半期決算説明会

2022年2月3日

目次

1. 2022年3月期 第3四半期決算概要	—————	p. 3-8
2. 2022年3月期 通期業績予想	—————	p. 9-14
➤ Appendix	—————	p. 15-19
✓ セグメント別状況		

(※) 本資料上、「感染症」との表記は、「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)」を指します

(添付) Ocean Network Express 2021年度第3四半期決算説明資料

3Q振り返り（累計期間/前年同期比）

▶ 売上高 : 16,759億円 (5,300億円 増収)

- ・ 物流事業の運賃水準上昇と取扱量増加により増収 (2,256億円 増収)
- ・ ドライバルクの市況高騰を受け、不定期専用船事業で増収 (2,312億円 増収)

▶ 経常損益 : 6,983億円 (5,762億円 増益)

- ・ 旺盛な需要継続により、ライナー&ロジスティクス事業 (定期船・航空運送・物流事業) で大幅な増益 (4,958億円 増益)
- ・ 不定期専用船事業もドライバルクの好市況と自動車船の取扱台数回復により増益 (798億円 増益)

▶ 当期純損益 : 6,922億円 (6,398億円 増益)

- ・ 不動産業における子会社の一部株式譲渡により、特別利益を計上 (約230億円)
- ・ 航空運送事業の機材買い取りによるリース契約解約金を特別損失として計上 (約80億円)

セグメント別（経常損益 前年同期比）

▶ 定期船 : 5,044億円（4,359億円 増益）

コンテナ船（Ocean Network Express社）

- ・ 旺盛な輸送需要が続く中、港湾や内陸部の混雑により、船舶の回転率低下が継続
- ・ 北米航路は港湾混雑の影響を受け積高は前年同期比で減少するも、総積高は増加
- ・ 運航スケジュール維持や輸送スペース確保のため、追加コストは生じたが、短期運賃の高止まりと共に長期運賃も上昇し、大幅な増益に

ターミナル

- ・ 国内外ともに前年の感染症影響は軽減し、回復基調に

▶ 航空運送 : 564億円（317億円 増益）

- ・ 国際旅客便の運休、減便による輸送スペースの供給減少が継続
- ・ 自動車、半導体、eコマース関連貨物の好調な荷動きにより、運賃は高水準で推移
- ・ コンテナ船のスペース不足により一部の海上貨物が航空貨物へシフトする動きも継続し、需要を更に押し上げ

セグメント別（経常損益 前年同期比）

▶ 物流 : 456億円（282億円 増益）

- ・ **海上貨物** 旺盛な輸送需要により高騰するスペースの仕入価格に販売価格が追い付き、堅調な利益水準を維持、また前年同期比で取扱量も増加
- ・ **航空貨物** 国際旅客便の減便継続により需給逼迫、一部海上貨物のシフトも続き、業績を牽引
- ・ **ロジスティクス** 欧米を中心に一般消費財の荷動きが想定を上回り推移、また契約見直しやコスト削減策が功を奏し、利益を押し上げ

▶ 不定期専用船 : 939億円（798億円 増益）

自動車輸送

- ・ 半導体生産不足や感染症拡大による自動車部品不足の影響は限定的、前年同期比で輸送台数は増加

ドライバルク輸送

- ・ 好調な荷動きに支えられ、市況は各船型で例年を大きく上回る水準で推移

エネルギー輸送

- ・ 一部タンカー（VLCC等）の市況低迷が影響
- ・ LNGや海洋事業は中長期契約を主とし、業績は安定して推移

(億円)	21/3期						22/3期				1-3Q 累計 増減
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計	
売上高	3,611	3,608	4,239	11,459	4,624	16,084	5,046	5,467	6,245	16,759	5,300
営業損益	89	77	312	479	235	715	530	649	800	1,979	1,500
経常損益	165	308	746	1,220	932	2,153	1,536	2,436	3,010	6,983	5,762
親会社株主に 帰属する 当期純損益	116	104	301	523	868	1,392	1,510	2,602	2,808	6,922	6,398
為替レート	¥107.74	¥105.90	¥104.76	¥106.14	¥104.74	¥105.79	¥109.80	¥109.99	¥113.12	¥110.97	¥4.83
燃料油価格	\$452.83	\$308.51	\$331.04	\$362.57	\$363.90	\$362.95	\$441.92	\$515.24	\$555.96	\$504.05	\$141.48

前年同期比較 (セグメント別)

3Q決算



事業セグメント (億円)	21/3期						22/3期				1-3Q累計 増減	
	1Q	2Q	3Q	累計	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	累計		
ライナー & ロジスティクス 事業 専用船 その他 事業	定期船	391	421	451	1,265	440	1,705	501	438	470	1,410	145
		67	217	400	684	723	1,408	1,113	1,790	2,140	5,044	4,359
	航空運送	288	256	333	878	345	1,224	439	458	518	1,416	537
		93	38	114	246	85	332	153	177	233	564	317
	物流	1,129	1,221	1,525	3,876	1,735	5,612	1,768	2,005	2,359	6,133	2,256
		27	53	93	174	95	270	115	168	172	456	282
	(単純合計)	1,810	1,898	2,311	6,020	2,521	8,542	2,709	2,901	3,349	8,960	2,939
		188	309	608	1,106	904	2,011	1,382	2,135	2,547	6,065	4,958
	不定期 専用船	1,648	1,531	1,754	4,933	1,881	6,815	2,176	2,392	2,676	7,246	2,312
		▲ 11	13	139	141	44	186	160	316	462	939	798
不動産	17	17	16	51	17	68	15	8	8	33	▲ 18	
	7	6	6	20	5	25	7	4	4	16	▲ 3	
その他	273	314	320	909	388	1,297	339	378	465	1,182	273	
	▲ 4	▲ 10	1	▲ 14	▲ 8	▲ 22	▲ 6	▲ 10	6	▲ 11	2	
消去・全社	▲ 138	▲ 153	▲ 164	▲ 455	▲ 184	▲ 640	▲ 195	▲ 213	▲ 254	▲ 662	▲ 207	
	▲ 13	▲ 10	▲ 9	▲ 33	▲ 13	▲ 47	▲ 7	▲ 9	▲ 9	▲ 27	6	
連結	3,611	3,608	4,239	11,459	4,624	16,084	5,046	5,467	6,245	16,759	5,300	
	165	308	746	1,220	932	2,153	1,536	2,436	3,010	6,983	5,762	

※ (上段) 売上高 (下段) 経常損益

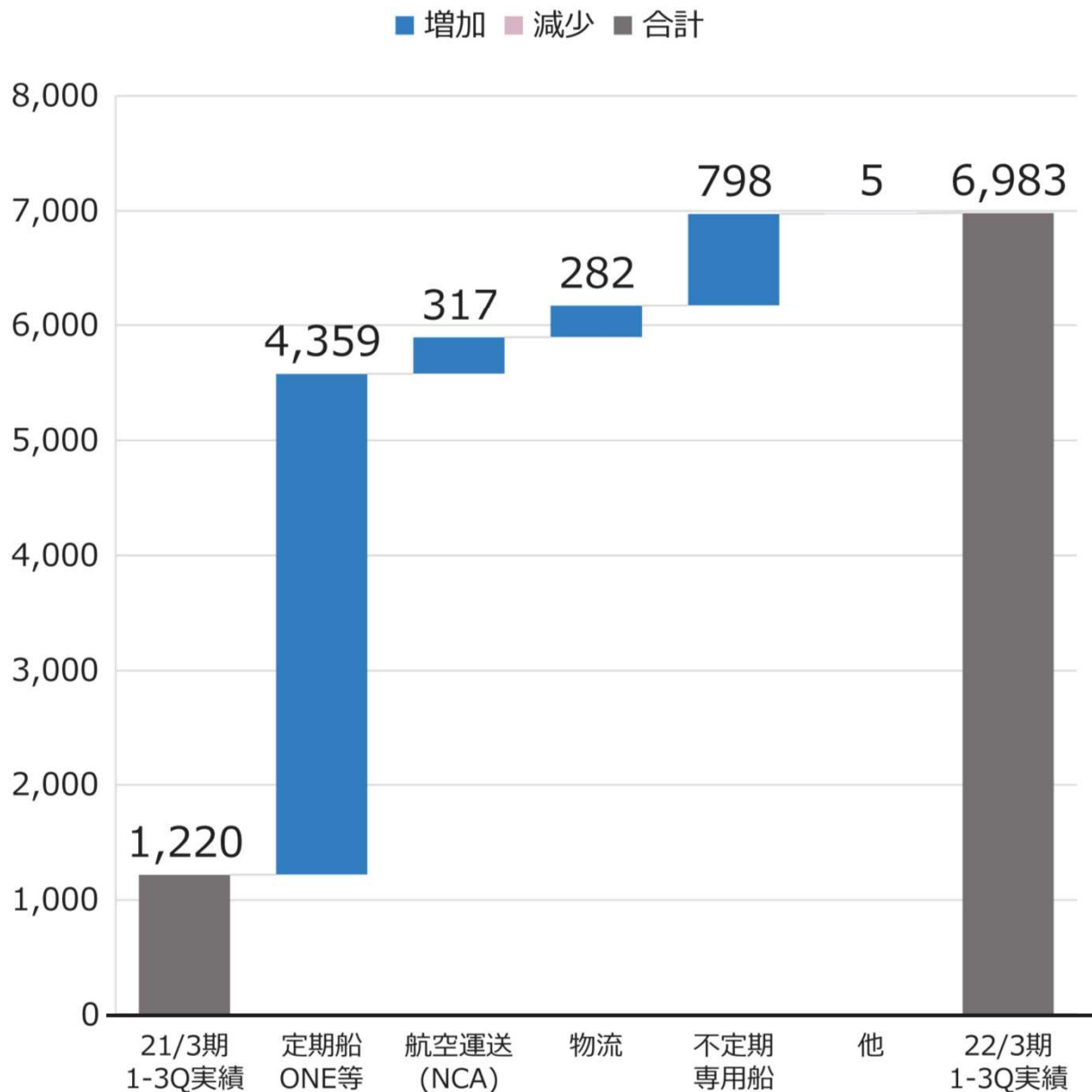
※ 2021年度より「一般貨物輸送事業」は「ライナー&ロジスティクス事業」に名称を変更

要因別分析

円安	179	今期 110.97円/\$ 4.83円の円安
燃料油高	▲ 23	今期 \$504.05/MT \$141.48/MTの上昇
海運市況 変動等	4,943	定期船(含むONE) +4,236 不定期船 +706
為替差損益	75	
その他	589	物流 +282 航空運送(NCA) +317
合計	5,762	

事業別分析

(単位：億円)



通期業績予想（前回 2Q決算時 予想比）

- ▶ **売上高** : **2兆2,000億円（2,000億円 上方修正）**
 - ・ 物流事業の運賃水準上昇が寄与（1,220億円 増収）

- ▶ **経常損益** : **9,300億円（2,200億円 上方修正）**
 - ・ ライナー&ロジスティクス事業（定期船・物流事業・航空運送事業）は前回予想比で上方修正（1,970億円 増益）
 - ・ 不定期専用船事業も主にドライバルクと自動車船で好調を見込み、上方修正（220億円 増益）

- ▶ **当期純損益** : **9,300億円（2,200億円 上方修正）**

- ▶ **配当** : **通期 1,200円/株 <中間 200円/株・期末 1,000円/株>**
 - ・ 株主還元の基本方針は連結配当性向25%を目安とし、業績見通し等を総合的に勘案し、利益配分を決定
 - ・ 中間配当を200円/株、期末配当は前回2Q決算時予想から400円/株を増額して1,000円/株を予想し、通期で1,200円/株とする見通し
 - ・ 自己株式の取得を継続した検討課題とし、今年度の利益に対する株主還元案は業績確定を踏まえ、2022年5月の取締役会で決議を予定

セグメント別（経常損益 前回 2Q決算時予想比）

▶ 定期船 : 6,800億円（1,700億円 上方修正）

コンテナ船（Ocean Network Express社）

- ・ 足許も旺盛な輸送需要と港湾、内陸部の混雑は継続、需給バランス正常化の時期は不透明
- ・ 前回予想比で運賃水準の上昇による増益を見込む
- ・ 船舶の回転率悪化による積高減少を見込み、旧正月等の季節要因の影響が懸念されるも、貨物需要は堅調に推移する前提で見通しを策定

ターミナル

- ・ 北米西岸を中心に港湾混雑により取扱量減少リスクはあるも、国内含め堅調維持を見込む

▶ 航空運送 : 760億円（190億円 上方修正）

- ・ 4Qは季節的な不需要期となるも、国際旅客便の市場復帰の影響は未だ不透明
- ・ 一部海上貨物の航空貨物へのシフト継続による需要の下支えを見込み、需給バランスは大きくは崩れない見通し

セグメント別（経常損益 前回 2Q決算時予想比）

▶ 物流 : 560億円（80億円 上方修正）

- ・ 海上貨物 取扱量は徐々に落ち着くも、堅調な利益水準を維持すべく、機動的なマーケティングを継続
- ・ 航空貨物 海上貨物と同様、季節性による取扱量の減少を見込むも、堅調な見通し
- ・ ロジスティクス 人件費高騰等の課題はあるも、価格改定等の契約見直しやコスト削減を進め、収支安定化へ

▶ 不定期専用船 : 1,220億円（220億円 上方修正）

自動車輸送

- ・ 減産影響は軽減し、通期の輸送台数は前回予想比で1%の微増を見込み、下期は上期を上回る輸送台数に

ドライバルク輸送

- ・ パナマックス、ハンディサイズの市況前提は前回予想比で下方修正も、3Qの好況を捉え、好調継続を見込む

エネルギー輸送

- ・ 一部タンカー（VLCC等）の市況低迷による影響を受けるも、LNG船や海洋事業の中長期契約に支えられ、安定して堅調な業績推移を見込む

(億円)	21/3期 (実績)					22/3期(予想)					通期 増減	前回 予想比 (通期)
	上期		下期		通期	上期 (実績)		下期		通期		
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q			
売上高	7,220		8,863		16,084	10,513		11,487		22,000	5,916	2,000
	3,611	3,608	4,239	4,624		5,046	5,467	6,245	5,241			
営業損益	166		548		715	1,179		1,471		2,650	1,935	450
	89	77	312	235		530	649	800	670			
経常損益	474		1,679		2,153	3,972		5,328		9,300	7,147	2,200
	165	308	746	932		1,536	2,436	3,010	2,317			
親会社株主に帰属する 当期純損益	221		1,170		1,392	4,113		5,187		9,300	7,908	2,200
	116	104	301	868		1,510	2,602	2,808	2,378			
為替レート	¥107.74	¥105.90	¥104.76	¥104.74	¥105.79	¥109.80	¥109.99	¥113.12	¥113.00	¥111.48	¥5.69	¥1.53
燃料油価格 (全油種)	\$452.83	\$308.51	\$331.04	\$363.90	\$362.95	\$441.92	\$515.24	\$555.96	\$565.00	\$519.53	\$156.58	\$8.24
燃料油価格 (HSFO)	-	-	-	-	-	-	-	-	\$420.00	-	-	-
適合油価格 (VLSFO)	-	-	-	-	-	-	-	-	\$570.00	-	-	-

▶ 利益に対する感応度(通期)

為替レート : 1円の円安で約68.4億円/年の増益

燃料油価格 : \$ 10/MTの燃料油価格下落で約1.9億円/年の増益

通期業績予想 (セグメント別)

業績予想



事業セグメント (億円)	21/3期 (実績)							22/3期(予想)							通期 増減	
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q (実)	2Q (実)	上期 (実)	3Q (実)	4Q	下期	通期		
ライナー & ロジスティクス事業	定期船	391	421	813	451	440	891	1,705	501	438	940	470	449	920	1,860	155
		67	217	284	400	723	1,123	1,408	1,113	1,790	2,903	2,140	1,756	3,897	6,800	5,392
航空運送		288	256	544	333	345	679	1,224	439	458	897	518	464	983	1,880	656
		93	38	132	114	85	200	332	153	177	330	233	196	430	760	428
物流		1,129	1,221	2,350	1,525	1,735	3,261	5,612	1,768	2,005	3,773	2,359	1,887	4,247	8,020	2,408
		27	53	81	93	95	189	270	115	168	284	172	103	276	560	290
(単純合計)		1,810	1,898	3,708	2,311	2,521	4,833	8,542	2,709	2,901	5,610	3,349	2,800	6,150	11,760	3,218
		188	309	498	608	904	1,512	2,011	1,382	2,135	3,518	2,547	2,055	4,602	8,120	6,109
事専用船	不定期	1,648	1,531	3,179	1,754	1,881	3,635	6,815	2,176	2,392	4,569	2,676	2,264	4,941	9,510	2,695
	専用船	▲ 11	13	1	139	44	184	186	160	316	477	462	281	743	1,220	1,034
その他事業	不動産	17	17	34	16	17	33	68	15	8	24	8	7	16	40	▲ 28
		7	6	13	6	5	12	25	7	4	12	4	3	8	20	▲ 5
その他		273	314	588	320	388	709	1,297	339	378	717	465	437	903	1,620	323
		▲ 4	▲ 10	▲ 15	1	▲ 8	▲ 7	▲ 22	▲ 6	▲ 10	▲ 17	6	▲ 9	▲ 3	▲ 20	2
消去・全社		▲ 138	▲ 153	▲ 291	▲ 164	▲ 184	▲ 348	▲ 640	▲ 195	▲ 213	▲ 408	▲ 254	▲ 267	▲ 522	▲ 930	▲ 290
		▲ 13	▲ 10	▲ 24	▲ 9	▲ 13	▲ 22	▲ 47	▲ 7	▲ 9	▲ 17	▲ 9	▲ 13	▲ 23	▲ 40	7
連結		3,611	3,608	7,220	4,239	4,624	8,863	16,084	5,046	5,467	10,513	6,245	5,241	11,487	22,000	5,916
		165	308	474	746	932	1,679	2,153	1,536	2,436	3,972	3,010	2,317	5,328	9,300	7,147

※ (上段) 売上高 (下段) 経常損益

※ 2021年度より「一般貨物輸送事業」は「ライナー&ロジスティクス事業」に名称を変更

通期業績予想 (セグメント別・前回今回予想比)

業績予想



事業セグメント (億円)	前回予想			今回予想					前回予想差	
	上期(実)	下期	通期	上期 (実)	3Q (実)	4Q	下期	通期	通期	
ライナー & ロジスティクス 事業	定期船	940	860	1,800	940	470	449	920	1,860	60
		2,903	2,196	5,100	2,903	2,140	1,756	3,897	6,800	1,700
	航空運送	897	803	1,700	897	518	464	983	1,880	180
		330	240	570	330	233	196	430	760	190
	物流	3,773	3,026	6,800	3,773	2,359	1,887	4,247	8,020	1,220
	284	196	480	284	172	103	276	560	80	
(単純合計)	5,610	4,689	10,300	5,610	3,349	2,800	6,150	11,760	1,460	
	3,518	2,632	6,150	3,518	2,547	2,055	4,602	8,120	1,970	
用不 船定 事期 業専	不定期 専用船	4,569	4,531	9,100	4,569	2,676	2,264	4,941	9,510	410
		477	523	1,000	477	462	281	743	1,220	220
そ の 他 事 業	不動産	24	10	35	24	8	7	16	40	5
		12	8	20	12	4	3	8	20	0
	その他	717	748	1,465	717	465	437	903	1,620	155
	▲ 17	▲ 8	▲ 25	▲ 17	6	▲ 9	▲ 3	▲ 20	5	
消去・全社		▲ 408	▲ 492	▲ 900	▲ 408	▲ 254	▲ 267	▲ 522	▲ 930	▲ 30
		▲ 17	▲ 27	▲ 45	▲ 17	▲ 9	▲ 13	▲ 23	▲ 40	5
連結		10,513	9,487	20,000	10,513	6,245	5,241	11,487	22,000	2,000
		3,972	3,128	7,100	3,972	3,010	2,317	5,328	9,300	2,200

※ (上段) 売上高 (下段) 経常損益

▶ Appendix

▶ 1. 航空運送事業 (NCA)

	21/3期(実績)					22/3期(予想)					前回 予想比 (通期)
	上期		下期		通期	上期(実績)		下期		通期	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q		
売上高(億円)	544		679		1,224	897		983		1,880	180
	288	256	333	345		439	458	518	464		
経常損益(億円)	132		200		332	330		430		760	190
	93	38	114	85		153	177	233	196		
輸送重量	238		262		500	250		209		458	▲ 24
千トン	118	120	133	128		129	121	110	99		
輸送量(RTK)	1,324		1,446		2,771	1,425		1,237		2,662	▲ 125
百万トンキロ	649	675	737	709		726	699	651	586		
供給量(ATK)	2,069		1,971		4,040	1,874		1,691		3,566	▲ 130
百万トンキロ	1,017	1,052	1,030	941		953	922	890	801		
YIELD指数	111		111		111	144		188		164	25
09/3期 1Q=100	121	102	111	110		139	149	193	183		
燃料単価	\$36		\$55		\$46	\$74		\$87		\$80	\$3
(ジェット燃料)											
US\$ per bbl	\$30	\$42	\$47	\$63		\$71	\$77	\$89	\$85		

▶ 2. 物流事業：郵船ロジスティクス

		20/3期 (実績)	21/3期(実績)				通期	22/3期(予想)				前回 予想比 (通期)	
			上期		下期			上期(実績)		下期			
		通期	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q(実)	4Q	通期		
海上 輸出	TEU (1,000TEU)	764	336		387		723	370		353		723	1
	前年同期比	▲ 6%	154	182	197	190		188	182	182	171		
			▲ 19%	▲ 10%	▲ 1%	11%	22%	0%	▲ 8%	▲ 10%			
航空 輸出	重量 (1,000トン)	337	132		194		326	201		199		400	0
	前年同期比	▲ 11%	64	68	91	103		100	101	106	93		
			▲ 23%	▲ 21%	2%	30%	56%	49%	16%	▲ 10%			

▶ 3. 不定期専用船事業 – 1) ドライバルカー・タンカー市況動向

	21/3期(実績)					22/3期(予想)					前回予想 (通期)	
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q(実)	2Q(実)	3Q(実)	4Q	通期		
ドライバルカー	BDI	766	1,520	1,352	1,725	1,341	2,791	3,732	3,478	2,010	3,003	3,103
	Cape	9,598	20,661	16,657	17,133	16,012	31,280	42,380	42,306	16,500	33,116	32,915
	Panamax	7,313	13,165	12,067	18,289	12,709	25,912	33,612	29,127	24,000	28,163	29,381
	Handymax	5,439	9,945	10,778	16,363	10,631	25,407	34,278	30,382	21,000	27,767	30,171
	Handy	5,178	9,153	11,192	16,328	10,463	22,420	32,204	31,229	21,000	26,713	27,656
タンカー	VLCC	90,916	18,108	10,516	217	29,939	▲ 589	▲ 3,053	1,685	10,000	2,011	6,589
	VLGC	33,007	40,722	68,362	40,028	45,530	35,655	22,961	39,657	35,000	33,318	32,154

※ Cape = 5TC, Panamax = 5TC, Handymax = 10TC, Handy = 7TC

※ ドライバルク船型別市況 (スポット傭船料)

5TC = 5航路平均、10TC = 10航路平均、7TC = 7航路平均 (単位 = \$/day)

▶ 3. 不定期専用船事業 – 2) 自動車輸送

	21/3期(実績)				通期	22/3期(予想)				前回予想比 (通期)	
	上期		下期			上期 (実績)		下期			通期
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	2Q	3Q(実)	4Q		
輸送台数 (万台)	145		211		356	205		210		415	4
	87	59	101	110		107	98	103	107		
前年同期比	▲ 39%		▲ 5%		▲ 22%	41%		▲ 0%		17%	1%
	▲ 25%	▲ 51%	▲ 5%	▲ 4%		23%	67%	2%	▲ 2%		

※ 21/3期は航海完了基準、22/3期は積切基準ベースで集計

※ 欧州域内輸送台数（スペースチャーター込み）を含む

ONE

OCEAN NETWORK EXPRESS

2021年度第3四半期決算説明資料

2022年1月31日

- 1. 2021年度第3四半期決算概要 P.3
- 2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数 P.4
- 3. サプライチェーン混乱の影響と対応 P.5
- 4. 2021年度通期見通し P.6
- 5. 競争力及びサステナビリティ強化へ
向けた取り組み P.7
- 6. 参考資料（船隊構成、航路構成） P.8

1. 2021年度第3四半期決算概要

□ 要点

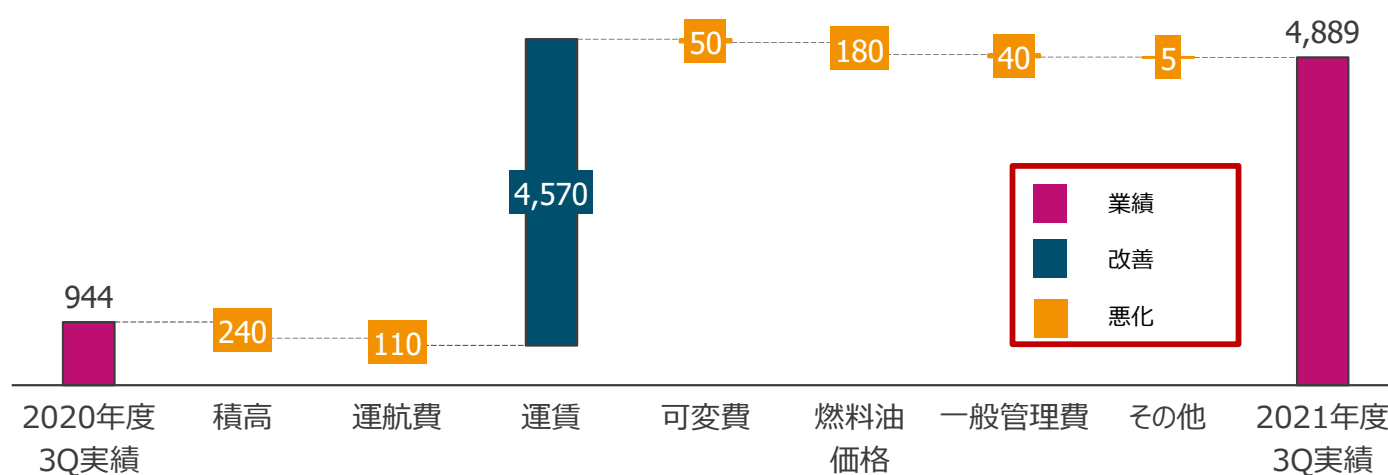
短期運賃市況の上昇により、前年同期比大幅に改善し、第3四半期に4,889百万US\$の黒字を達成 (+3,945百万US\$)

- ・ 10-12月は国慶節や年末年始による季節要因の影響はありつつも、総じて旺盛な貨物需要が継続。
- ・ 一方、供給面では、サプライチェーン全体の混乱が継続しており、特に北米西岸は港湾や内陸の混雑が2Qよりもさらに悪化。
- ・ 以上から、短期運賃市況は2Qからさらに上昇、想定を上回る水準で推移。

□ 2021年度第3四半期実績並びに対前年同期比較

(単位：百万US\$)

	2020年度			2021年度			3Q 対前年同期比		1Q-3Q 対前年同期比	
	上期実績	3Q実績	1Q-3Q実績	上期実績	3Q実績	1Q-3Q実績	増減	増減 (%)	増減	増減 (%)
売上高	5,917	3,757	9,673	13,333	8,332	21,665	4,575	122%	11,991	124%
EBITDA	1,342	1,293	2,635	7,496	5,286	12,782	3,993	309%	10,147	385%
EBIT	846	1,036	1,882	6,952	5,019	11,970	3,983	384%	10,088	536%
税引き後損益	682	944	1,626	6,760	4,889	11,648	3,945	418%	10,022	616%
燃料油価格 (US\$/MT)	\$328	\$314	\$323	\$487	\$531	\$501	\$217	69%	\$178	55%
総燃料消費量 (K MT)	1,765	933	2,698	1,797	854	2,651	-79	-8%	-47	-2%
総積高 (K TEU)	5,734	3,204	8,938	6,285	2,939	9,224	-264	-8%	286	3%



- 積高：旺盛な貨物需要は継続するも混雑による欠航等の影響により減少。
- 運航費：主に船費の増加により運航費は増加。
- 運賃：長期運賃及び短期市況が大幅に上昇。
- 可変費：コスト削減は進展するも、港湾や内陸の混雑により追加費用が発生。
- 燃料油価格：油価は上昇。
- 一般管理費：代理店費用やシステム費用が増加。
- その他：概ね前年同期並み。

2. 主要航路別積高・消席率・運賃指数

(単位：千TEU)

航路別積高・消席率		2020年度							2021年度			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q
北米往航	積高	610	765	1,375	730	659	1,389	2,764	615	649	1,264	564
	消席率	96%	100%	98%	103%	102%	103%	100%	100%	100%	100%	100%
欧州往航	積高	347	419	766	402	389	791	1,556	436	443	879	411
	消席率	96%	98%	97%	102%	99%	100%	99%	100%	100%	100%	97%
北米復航	積高	327	328	654	368	330	698	1,352	328	309	638	258
	消席率	51%	43%	47%	54%	56%	55%	51%	54%	54%	54%	47%
欧州復航	積高	290	289	579	331	308	639	1,219	339	347	687	305
	消席率	75%	70%	73%	80%	80%	80%	76%	82%	78%	80%	69%

(2018年度1Qの各航路総平均運賃を100とした指数)

航路別運賃指数		2020年度							2021年度			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	1Q	2Q	上期	3Q
北米往航		110	119	115	140	157	148	132	185	247	216	285
欧州往航		106	103	104	125	280	201	153	327	451	389	539

- 積高・消席率：北米航路の積高は2Q比で国慶節や年末年始の影響等により減少するも、消席率は満船を維持。前年同期比では西岸ターミナル混雑がさらに悪化しており積高は減少。
欧州航路は2Q比で季節要因の影響により積高、消席率は低下。前年同期比では積高は概ね前年並みに推移するも消席率はスケジュールの乱れによる影響を受けた。
- 運賃指数：前年同期比で運賃市況は大幅に上昇。2Q比でもさらに上昇。

3. サプライチェーン混乱の影響と対応

発生事象	<ul style="list-style-type: none">➢ 消費財を中心に、10-12月の世界的な貨物需要は堅調に推移。アジア発北米向け航路の10、11月の荷動きは対前年3%程度増加、また、アジア発欧州向け航路の10、11月の荷動きは対前年6%程度増加。➢ 旺盛な貨物需要、労働力不足、また、COVID-19による影響も引き続き残り、世界的に港湾・内陸での混雑が悪化。➢ トラック、シャーシ不足等によるコンテナ引き取りの遅延が引き続き発生。➢ 世界各国の移動制限は一部改善の兆しが見えるも、船員交代に関しては未だ困難な状況が残る。
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------



ONEの 対応	Customer service oriented	<ul style="list-style-type: none">➢ eコマースの新機能“ONE QUOTE” などデジタルソリューションの機能を拡充。➢ ONE Mobile APPの新たなホームページを開設。顧客の利便性を向上しタイムリーな情報を提供。
	Operation excellency	<ul style="list-style-type: none">➢ 調達済みのリーファーコンテナの投入はほぼ完了。さらに追加の調達を実行。➢ 自社スペースの最大運用、及び追加船舶を活用したコンテナ回送を徹底。➢ 船の遅延と貨物量急増による積み残しの解消のため、船舶の追加投入並びに増速を含めた運航最適化を実施。➢ ターミナルとも協業しコンテナの早期引き取りおよび返却の働きかけを実施。➢ 船員交代のための臨時寄港にも最大限対応、船主との協力を強化。
	Quality of employee	<ul style="list-style-type: none">➢ 全世界のオフィスで柔軟な在宅勤務を実施。➢ 社員同士の繋がりを維持し、地域社会に貢献するためのCSR活動を継続。



**サプライチェーン全体に対して許容量を超える負担がかかっている状況が継続。
ONEとしては社会インフラを維持する責任を果たすべく最大限の対応を実施。
3Qにおいてはスペース不足は続くもコンテナ不足は発生せず。**

4. 2021年度通期見通し

□ 要点

2021年度通期業績は旺盛な貨物需要と運賃市況の改善を背景に税引き後利益15,398百万US\$を見込む。

- 旺盛な貨物需要と短期運賃市況の改善を背景に、3Qには税引き後利益4,889百万US\$を達成。4Qは旧正月等の季節要因及びサプライチェーンの混乱による欠航の影響などが懸念されるが、堅調な荷動きが続く見込みで、税引き後利益3,750百万US\$を予想。

□ 2021年度通期見通し

(単位：百万US\$)

*2021年10月末時点

	2021年度 (前回予想*)		
	上期 実績	下期 予想	通期 予想
売上高	13,333	12,080	25,413
EBITDA	7,496	5,630	13,126
EBIT	6,952	5,100	12,051
税引き後損益	6,760	5,000	11,760

2021年度 (最新予想)				
上期 実績	3Q 実績	4Q 予想	下期 予想	通期 予想
13,333	8,332	7,380	15,712	29,045
7,496	5,286	4,080	9,366	16,862
6,952	5,019	3,830	8,849	15,800
6,760	4,889	3,750	8,639	15,398

通期 (対前回予想)	
増減	増減 (%)
3,632	14%
3,736	28%
3,749	31%
3,638	31%

燃料油価格 (US\$/MT)	\$487	\$589	\$541
-----------------	-------	-------	-------

\$487	\$531	\$582	\$556	\$520
-------	-------	-------	-------	-------

-\$21	-4%
-------	-----

	2020年度 実績		
	上期	下期	通期
売上高	5,917	8,480	14,397
EBITDA	1,342	3,513	4,855
EBIT	846	2,987	3,832
税引き後損益	682	2,802	3,484

通期(対前年)	
増減	増減 (%)
14,648	102%
12,007	247%
11,968	312%
11,915	342%

燃料油価格 (US\$/MT)	\$328	\$335	\$331
-----------------	-------	-------	-------

\$189	57%
-------	-----

5. 競争力及びサステナビリティ強化へ向けた取り組み

- 既存の極東ロシア直行サービス（KRX）に、Korea Russia Express 2 (KRX2)を追加することでサービスを拡充。
- ONE QUOTEのさらなる機能を追加、サービス範囲を拡充。12月からはONE QUOTEにおいて新たにReefer as Dry(RAD)の運用を開始。顧客からの依頼に迅速に対応すべく対象国も徐々に拡大。
- 欧州RHQにて、欧州アフリカにおける内陸オペレーションに関して環境マネジメントシステム（ISO14001）を取得。
- 船主のSEASPAN と合同海難事故対応訓練を実施。
- より環境に優しい海事産業を目指す取り組みの一環として、PSA Corporation Ltd (PSA)と共同で星港ジュロン島ターミナルにおける環境負荷の低いバージサービスを開始。
- “Sustaining Crew Welfare Campaign” への参加に続き、船員の円滑な交代やメンタルケアを支援するThe Mission to Seafarersへ £30,000を追加寄付し、プラチナドナーに。
- 乳がん啓発の一貫として#ONEPINKRIBBONチャリティーを実施。コンテナ100本に乳がん啓発のシンボルであるピンクリボンをあしらい、1年を通じて早期検査の重要性の認知向上を目指す。社内外でCSR活動を実施すると共に、収益の一部を寄付。

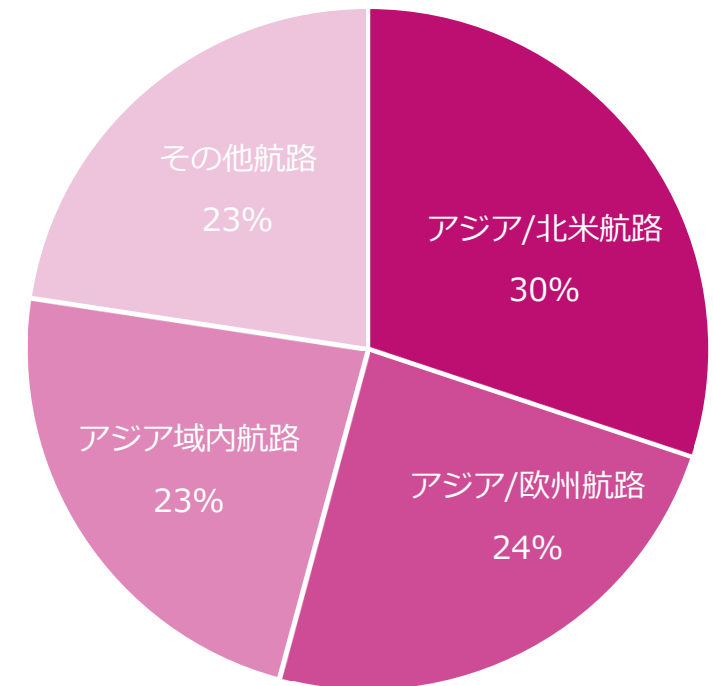
6. 参考資料（船隊構成・航路構成）

□ 船隊構成

Size		1)2021年9月末	2)2021年12月末	2)-1)
>= 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	120,600	120,600	0
	隻数	6	6	0
10,500 - 20,000 TEU	キャパシティ(TEU)	456,600	456,600	0
	隻数	33	33	0
9,800 - 10,500 TEU	キャパシティ(TEU)	110,200	110,200	0
	隻数	11	11	0
7,800 - 9,800 TEU	キャパシティ(TEU)	365,698	365,698	0
	隻数	41	41	0
6,000 - 7,800 TEU	キャパシティ(TEU)	163,984	138,307	▲ 25,677
	隻数	25	21	▲ 4
5,200 - 6,000 TEU	キャパシティ(TEU)	77,632	66,463	▲ 11,169
	隻数	14	12	▲ 2
4,600 - 5,200 TEU	キャパシティ(TEU)	103,169	93,122	▲ 10,047
	隻数	21	19	▲ 2
4,300 - 4,600 TEU	キャパシティ(TEU)	67,271	62,952	▲ 4,319
	隻数	15	14	▲ 1
3,500 - 4,300 TEU	キャパシティ(TEU)	29,130	24,874	▲ 4,256
	隻数	7	6	▲ 1
2,400 - 3,500 TEU	キャパシティ(TEU)	74,356	80,602	6,246
	隻数	28	30	2
1,300 - 2,400 TEU	キャパシティ(TEU)	10,415	12,093	1,678
	隻数	6	7	1
1,000 - 1,300 TEU	キャパシティ(TEU)	10,663	10,573	▲ 90
	隻数	10	10	0
< 1,000 TEU	キャパシティ(TEU)	0	618	618
	隻数	0	1	1
合計	キャパシティ(TEU)	1,589,718	1,542,702	▲ 47,016
	隻数	217	211	▲ 6

□ 航路構成

(2021年度3Q 往復スペースの構成)





免責事項

本資料に掲載されている将来計画や業績予測、戦略、方針、見込み等に関する記載は、資料作成時点で入手可能な情報及び一定の仮定に基づいて作成されたものであり、将来予想に関する記述に該当します。将来予想に関する記述は、予想、予測、期待、傾向、目的、計画、確信、模索、継続、可能性等の文言又は類似する表現が含まれることがありますが、これに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な不確定要素及び可変要因により、実際の業績、結果、パフォーマンス等と大幅に異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載されている将来予想に関する記述と実際の結果との間に不一致をもたらす可能性のある要素としては、海運市況の著しい変動や、為替・金利・燃料油価格の変動などが挙げられますが、これらに限定されるものではありません。諸要素の詳細については、EDINETに掲載されている当社の有価証券報告書にも記載されていますので、ご参照ください。

本資料に記載されている将来予想に関する記述は、本資料作成日時点のものであり、当社は、本資料作成日以降に判明した新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された情報を最新のものに変更する義務を負うものではありません。

本資料に掲載されている情報は、信頼できる情報源より取得するよう努力していますが、その情報の正確性または完全性については保証または約束するものではありません。当社は、本資料において使用するデータ及び表現等の欠落、誤謬、本情報の使用により引き起こされる損害等に対する責任は一切負いかねますのでご了承ください。

お問い合わせ先 - IRグループ

住所 〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-3-2 郵船ビル

TEL 03-3284-6008

FAX 03-3284-6382

E-mail iroffice@nykgroup.com

URL <https://www.nyk.com/ir/>